

知育アプリの企画・開発・販売を手がけるITベンチャー 《スマートエデュケーション》

1日2時間以内、インタラクティブ・コンテンツを推奨／スマホ・タブレットなどの利用時間

教育関係者と提言策定、『乳幼児の適切なスマートデバイス利用に関する「5つのポイント」』

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスが急速に普及する中、乳幼児のスマートデバイス利用に関して、多くの親が顕在的・潜在的に疑問や不安を抱えています。


株式会社スマートエデュケーション(以下、当社)は、スマートフォンやタブレット端末(以下、スマートデバイス)を効果的に利用し、乳幼児の「家庭内コミュニケーションの促進や、社会性・創造性・表現力・ITリテラシー向上」を図るための研究を進める計画です。それに先立ち、まずは親の疑問や不安を取り除き、「乳幼児と親が、適切にスマートデバイスを利用できる社会環境の整備」が必要であるとの認識に至りました。そこで、教育関係者と共に、「乳幼児の適切なスマートデバイス利用に関するガイドライン」等の策定に着手。この度完成しましたので、乳幼児の親はもとより、世に対して広く提言いたします。

《詳細は当社Webサイト上で公開》

乳幼児の適切なスマートデバイス利用に関する「5つのポイント」

1	親子で会話をしながら一緒に利用しましょう スマートデバイスは「親の代わり」をするものではありません。一緒に利用し親子での会話を促しましょう。
2	創造的な活動になるよう工夫しましょう 乳幼児が自ら考え表現できる環境作りを意識し、スマートデバイスの使い方について工夫しましょう。
3	多様な体験ができる機会を作りましょう 乳幼児期の発達には、多様な経験が必要。直接体験や絵本や玩具などとバランスよく組み合わせましょう。
4	生活サイクルを守りながら利用しましょう 睡眠時間やほかの生活時間が減少したり、生活サイクルが崩れたりしないよう注意しましょう。
5	親子でコミュニケーションを取りながらアプリを選びましょう 乳幼児の興味関心を捉え、好奇心を膨らませていくよう、親子で選びましょう。

親からの代表的な質問についての回答

1	Q:「1日の利用時間は、どれくらいが適切ですか？」 A:「1日2時間以内とし、コンテンツはインタラクティブなものにしましょう」 2歳以上の映像(※1)への接触時間合計を、“1日2時間以内”(※2)と推奨します。受動的な映像接触よりも、インタラクティブなコンテンツを利用することが望ましいでしょう。 ※1:[映像] ここでは、TVモニターや、パソコンモニターや、タブレット端末、スマートフォンのような機器に映し出される全ての映像を指します／※2:[2時間以内] スマートデバイスを含む、各機器から映し出される映像への“合計の接触時間”です	
2	Q:「アプリを選ぶコツを教えてください」 A:「発達や学びにつながるアプリを選びましょう」 アプリ利用が、子どもの社会学習のきっかけやコミュニケーション能力の向上、語彙の習得の機会であると認識し、「アプリが学習機会に影響を与える」と意識した上で、適したものを選択しましょう。	

本件詳細は、当社Webサイトをご確認ください。<http://smartereducation.jp/>

■「5つのポイント」等の策定プロセスについて

当社関係者、及び当社の考えに賛同した、NPO法人、保育関係者の3者が一堂に会し、研究会を開催。乳幼児教育に関して権威のある米国の3機関(※NAEYC、AAP、The Fred Rogers Center)や賛同した教育関係者らが発表している、各種レポート・調査結果・書籍、そして同教育関係者らの経験を参考に、議論と意見交換を重ね、『乳幼児の適切なスマートデバイス利用に関する「5つのポイント」』と、その補足となる『親からの代表的な質問についての回答』を策定しました。

※米国の3機関

[NAEYC] 全米乳幼児教育協会(The National Association for the Education of Young Children: NAEYC)。1926年に設立されたアメリカの幼児教育関係者(保育者、教師、教員養成校教師など)による職能団体。0歳から小学校3年生までの子どもの教育をカバーする、会員数10万人を超える巨大組織で、アメリカの幼児教育に関して大きな影響力をもつ。

[AAP] 米國小児科学会(American Academy of Pediatrics : AAP)。アメリカ合衆国における小児科学分野の学会。殆どのアメリカ人小児科医が会員となっており、全ての乳幼児、青少年のために最適な体や心の健康、社会的な健全さ、幸福を実現することを使命とする。

[The Fred Rogers Center] 0～5歳の子どもの早期学習において、コミュニケーションや協調、創造的な活動を促すメディア利用を促進することをミッションとしている。Fred Rogers氏は、幼児向け番組を通してテレビの可能性を切り開いた人物。メディアの恩恵を全ての子に提供したいという彼の意志を継いで、セントヴィンセント大学にセンターが設立される。

■研究会参加者

◎NPO法人エデューステクノロジーズ

◇代表理事 山内祐平氏(東京大学大学院情報学環 准教授)

[NPO法人エデューステクノロジーズ]

情報化社会における学習環境について研究開発・普及啓発を行うために設立されたNPO。人間の可能性を引き出す学習環境を実現するため、大学・企業・現場をつないだ実践的プロジェクトを展開している。

また、NPO法人エデューステクノロジーズの各種調査協力者として、以下の方々にもご参加いただきました。

◇佐藤朝美氏(東海学院大学人間情報学部 講師)

◇堀田博史氏(園田学園女子大学人間健康学部 教授)

◎保育関係者

◇学校法人ふたば学園理事長／川崎ふたば幼稚園園長 小川哲也氏

◇社会福祉法人コピーソシオ理事長／株式会社コピーアンドアソシエイツ代表取締役 小林照男氏

◇学校法人聖愛学園・聖愛幼稚園園長 野口哲也氏

◎当社

◇代表取締役・池谷大吾、◇広報担当・井上篤、◇知育アプリ開発担当者など

■当社概要など

社名	株式会社スマートエデュケーション	代表者	代表取締役 池谷大吾
所在地	東京都品川区西五反田2丁目4番2号 / Tel:03-6431-8910		
事業内容	学習教材の企画、制作販売(iPad、Android等のタブレット端末やスマートフォンを活用した、乳幼児向け「知育」アプリケーションを世界に向けて企画・開発・販売)		
本件窓口	広報担当(報道関係者様窓口):井上 pr@smarteducation.jp / Tel:03-6431-8910		

本件詳細は、当社Webサイトをご確認ください。<http://smarteducation.jp/>

以上